

平成23年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 341

政策体系	22	事業分類	ソフト事業	所管部局	市民部 環境課
会計	一般会計	科目	4. 衛生費 - 1. 保健衛 - 3. 環境衛 現年		
事業名	3 R 推進事業				
細事業名	3 R 推進事業				
評価表作成者				市民福祉部 環境課	八木正司

1. 事業の概要

地域・市民との連携やリサイクル活動の支援を通して、リサイクルやごみの減量化、地域の住み良いまちづくりを行う。

2. 事業の目的と必要性

① 施策で目指す目標との関連付け

ごみの排出量を抑制するとともに、環境への負担の少ない暮らしやエネルギーの有効活用を実践させるための事業。

② 事業を実施する必要性

家庭から排出されるごみを正しく分別することにより、ごみの減量化や資源再利用を着実に促進するため、本事業は必要不可欠である。

3. 事業費の推移

		単位	平19決算	平20決算	平21決算	平22決算	平23予算	平24計画	平25計画
決算額または計画額		千円			5,141	4,924	5,721	6,813	6,813
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等		千円			0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円			1,012	2,952	434	876	876
	国・府支出金	千円			1,144	1,029	0	0	0
	地方債	千円			0	0	0	0	0
	一般財源	千円			2,985	943	5,287	5,937	5,937
職員等の従事人員		人/年	—		0.34	0.34			
人件費		千円	—		2,506	2,570			
事業費総額		千円	—		7,648	7,495			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

リサイクル業務委託	466,578円	(委託料)
環境美化推進活動	2,400,000円	(委託料)
資源ごみ集団回収助成	1,747,410円	(負担金、補助及び交付金)
生ごみ処理機等購入補助	302,637円	(負担金、補助及び交付金)

5. 事業結果の概要

資源ごみ拠点回収	53.8t
環境美化推進委員	180名
資源ごみ集団回収助成	40団体、523t
生ごみ処理機等購入補助	25個

6. 活動の詳細

(1) リサイクル業務		
エコパックの配布・回収作業をシルバー人材センターに委託した。	年間	12ヶ月 467千円
(2) 環境美化推進委員活動		
各地区に環境美化推進委員を委嘱し、ごみステーションの管理、ごみ分別方法の指導等、地域のリーダーとして活躍いただいた。 また保管場所が確保できる地区については、エコパックを各地区に貸与し、地域における自主管理に協力いただいた。	年間	委員：180名、委託料2,400千円 エコパック地元管理（園部34、八木18、日吉33、美山56）
(3) 資源ごみ拠点回収		
「リサイクルの日」に、資源の館で資源化ごみの拠点回収を実施した。	年間（毎月8日）	47.0t（ダンボール7.7t、新聞10.2t、雑誌21.9t、古着7.2t）
(4) 資源ごみ集団回収助成		
ごみ減量化と資源の有効利用を図るため、地域で自主的に行う集団回収事業に対し、報奨金を交付した。	年間	交付団体数：40団体 実績：523t、1,747千円
(5) 生ごみ処理機等購入補助		
生ごみの減量化を図るため、生ごみ処理容器および堆肥化容器の購入費の一部を補助した。	年間	実績：25個、302千円

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

地区ごとに環境美化推進委員を委嘱し、ごみの分別回収・リサイクルの推進を図った。エコパックの地元管理についても、引き続いて拡大に努めた。

【参考】過年度の評価

■平成22年度の所属長評価

前年までは、ごみ減量・リサイクル・環境美化など多様な目的の業務が混在し、事業評価が難しい状況であったため、事業区分を整理し、新たに3R（発生抑制、再利用、再生利用）に関する事業区分を設けた。
また、エコパックの地域への貸与を促進し、配布・回収にかかる経費を大幅に削減することができた。

■平成21年度の所属長評価